

広げよう！ 清水らしい地域づくり

とさしみずし地域福祉活動計画
実践事例の紹介



平成 23 年 3 月

社会福祉法人 土佐清水市社会福祉協議会

土佐清水市では少子高齢化が進み、過疎化、若者が定住できない、交通便が悪い等、不安や生活課題がたくさんあります。

とさしみずし地域福祉活動計画は、私たちが暮らすまち「とさしみず」で、安心して暮らしたいという願いを実現するためにできた計画です。住みやすいまちづくりは、誰かがやってくれるではなく、私が、そして、地域に暮らす人々が築き上げていくものです。

清水の良さである人とのつながりや、自然の豊かさ等を活かして、課題解決に向けた取り組みが広がりを見せています。ここでは、そんな取り組みが広がるよう事例をご紹介します。

事例 1 斧積



村おこしの中心 60代
はたらく現役 70代
サロンに集まる 80代
介護無用の 90代
めざすは 100歳元気老人

めざせ
百歳元気老人

老人が元気でなければ活性化は望めない、誰かに頼るのではなく、自分たちが地域を盛り上げようとの思いから立ち上がった、郷土愛に溢れる「元気村おのづみ」。

平成 17 年 9 月高知大学の協力により、地域実態調査が行われました。草の山となっていた「ヤシキダグランド」をこのままにしておくのはもったいない、何とか再生できないかとの学生からの提案を、住民が受け止め立ち上がります。作業に延べ 250 人、子どもから高齢者まで集える交流の拠点を住民の力で復活させました。このことをきっかけに、現在は 1 年を通じて五大祭りが行われる等、充実した取り組みが行われています。



事例 2 久百々



久百々地区で
ひとときわ目立つ
写真を見つけてました

結婚式をしていない人にその思いを味わって欲しい・・・
いくつになっても、化粧をしてきれいに着る女の喜びを味わってほしい・・・

そんな気持ちが実現させた、心のこもった敬老会の写真が集会所で目を引きました。衣装はボランティアさんの手作りのものもあります。この衣装がきっかけとなり、市民文化会館の大舞台でコーラスを披露してくれました。

事例 3 鍵掛



鍵掛地区に
皆が集える場が
できました

鍵掛地区にサロンが誕生したのは平成 19 年。皆が元気な今、将来のために集う場を作っておこう、そんな気持ちからスタートしたサロンです。集まりたいの気持ちが、悪条件であった集会所まで変えたのです。集会所までの坂道には手すりが付き、トイレ、炊事場ができ倉庫まで作り上げたのです。鍵掛地区に皆が集える場ができました。「この場所がづらい時困ったときの支えの場でありたい」・・・代表の方の言葉が心に響きました。

事例 4 下ノ段



地域の交流の場
—めだかハウス—

子どもから高齢者まで皆が集まって楽しむことができれば、そんな思いを形にした、地域のふれあいの場「めだかハウス」が、下ノ段有志の手造りにより田平公園に完成しました。今はこの場所を拠点に、春になるとこいのぼり運動会、冬にはイルミネーション等、人の心を和ませてくれる地域の交流の場となっています。

事例 5 平ノ段



いざという
時に備えて、
日頃から

近い将来必ず発生すると予測されている南海地震に備え、消防団員が、災害弱者である高齢者の寝ている部屋を確認し、顔合わせをする時間を作る等日頃からつながりを深めています。また、窓ガラスの飛散防止フィルムの効果を実感する等、いざという時に備えた体制づくりに取り組んでいます。

事例 6 足摺岬



南海地震に備えて、地域で住民座談会を行い、防災リュックの中身を確認しました。その中で、①寝室には家具を置かない、置いた場合は固定する、②お守り代わりに笛をつければ、もしもの時に安否を知らせることができる、③靴は寝ているそばに置いておくと、逃げる時に足を守るのに役立つ等、今できることから取り組んでいこうと様々な気づきがありました。

災害が来る前に、
今、何ができるのか！

事例 7 貝ノ川浦



「みんなの役に立てたらうれしい」そんな思いからスタートしたボランティアグループたのしも！は 85 歳以上のひとり暮らし高齢者に月 1 回お弁当を届けています。食材はすべてボランティアの持ち寄り。見守りも兼ねて訪問し「お元気ですか」「食べて下さい」と手渡すと「どうもどうも、ありがとう」と地域で大変喜ばれています。

ひとり暮らしの
高齢者にお弁当を
届けています。

立石地区の現状を把握するため、高知女子大学の教授と学生にお世話になりながら、地域実態調査を行いました。そんな中で聞かれたのが、5年後、10年後立石地区は存在するのか、という声でした。



道が寸断されたら孤立してしまう、救急車が来るのが遅い、子ども達がそばにいない、色々不安はあるけど

お祭りの復活！
かつげ未来！！
おこせ住民力！！！！

やっぱり、 住み慣れた立石地区に住み続けたい！！

それが皆さんの思いでした。問題ばかりに目を向けるのではなく、できることからはじめよう！地域のいいところを発見しながら、できることを見つけていく、みんなの気持ちが一つになったら、きっと何かできるはず……そこで実現したのが、お祭りの復活です。

1. 地域を知ろう！

(地域実態調査)

交通の便が
悪い…

健康が心配

若い人が
少ない…



行事を大事に
している

人との
つながり
がある

地域の
人柄がよい

自然が豊か

不安や課題

地域の良さ

みんなの知恵



2. みんなで話そう!

(集う場)



- * みんなで、地域の良さを話しました。
- * 困った方の声に耳を傾けました。
- * 色々なことが、他人事ではなく自分のことのように思えました。
- * 何かをしたいという気持ちになりました。

3. みんなでやろう!

(実行)

- お祭り復活に向けて、
- * 地域の仲間と一緒に取り組みました。
 - * 地域に活気ができてきました。
 - * 子どもや孫たちに呼び掛けました。
 - * 集まり太刀踊りの練習をしました。



4. お祭り復活!

—平成22年10月31日—
仁井田神社のお祭り



おわりに

ご紹介した事例は、数多くある取り組みの一部にしかすぎません。この他にも、地域で様々な取り組みが行われています。地域づくりは、積極的に行動を起こす人を中心に、その人を温かく支援する人がいて、大きな「住民力」となり、計画をまちづくりの実現へと変化させていきます。一人でも多くの方が、地域づくりに興味・関心を持ち、共に地域づくりを進めていくために事例が参考になればと思います。

誰もが安心して
暮らすことのできる
幸せのまちづくりをめざして



社会福祉法人

土佐清水市社会福祉協議会

〒787-0323 土佐清水市寿町11番9号 社会福祉センター1F

TEL : 0880-82-3500 FAX : 0880-82-4047

E-mail : shakyou-s@viola.ocn.ne.jp